

調査・研修等計画届出書

令和 6年 9月 30日

瀬戸市議会議長 様

議員名 松原 大介

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 6年 10月 17日から 10月 18日まで (1泊2日)	
調査先・研修名	第86回全国都市問題会議	
会場名 (会場所在地)	アクリエひめじ (姫路市文化コンベンションセンター)	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	議題：健康づくりとまちづくり～市民の一生に寄り添う都市政策～ ・基調講演 生物学者・青山学院大学教授 福岡伸一氏 ・主報告 兵庫県姫路市長 清元秀泰氏 ・一般報告 筑波大学システム情報系教授 谷口守氏 千葉県流山市長 井崎義治氏 他1名 ・パネルディスカッション を通じて、全国的な動きや傾向、先進事例を学ぶことで、本市議会との差異を知り、今後の議会活動の向上に繋げていく。	
議長名の依頼	要 <input checked="" type="radio"/> 不要	依頼先 (名称)
同行者名	長江公夫 馬嶋みゆき	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和 6年 10月 24日

瀬戸市議会議長 様

議員名 松原 大介

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 6年 10月 17日から 10月 18日まで (1泊2日)
調査先・研修名	第86回全国都市問題会議
会場名 (会場所在地)	アクリエひめじ (姫路市文化コンベンションセンター)
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	<p>【1日目】10月17日(木) 9時30分～16時30分 議題：健康づくりとまちづくり～市民の一生に寄り添う都市政策～</p> <ul style="list-style-type: none">・基調講演 生物学者・青山学院大学教授 福岡伸一氏・主報告 兵庫県姫路市長 清元秀泰氏・一般報告 筑波大学システム情報系教授 谷口守氏 千葉県流山市長 井崎義治氏 他1名 <p>【2日目】10月18日(金) 9時30分～11時50分 パネルディスカッション「健康づくりとまちづくり～市民の一生に寄り添う都市政策～」</p> <p>を通じて、全国的な動きや傾向、先進事例を学ぶことで、本市議会との差異を知り、今後の議会活動の向上に繋げていく。</p>

【1日目】10月17日（木）

■基調講演「生命を捉えなおす—動的平衡の視点から—」

福岡伸一氏 生物学者／青山学院大学教授

- ・動的平衡とは、変わらないために変わり続けること。
- ・自らを積極的に壊しつつけることによって、系内にたまるエントロピーを捨てつづけ、またそれを作り直すことでなんとかバランスを保つ。

■主報告「市民の LIFE（命・くらし・一生）を守り支える姫路の健康づくりとまちづくり

清元秀泰氏 兵庫県姫路市長

- ・日本の平均寿命は、1947年男性 50.06 歳、女性 53.96 歳。2020年男性 81.56 歳、女性 87.71 歳。
- ・多様な社会参加ができる環境整備。
- ・健康寿命を延伸させることが重要。
- ・ウォーカブルなまちづくり。
- ・マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化。
- ・一万歩楽しく歩けるまちづくり。
- ・電子母子手帳。
- ・こどもの未来健康支援センター。
- ・プレコンセプションケア。

■一般報告

「生き物から学ぶ健康なまちづくり」谷口守氏 筑波大学システム情報系教授

「都市そのものを健康にするまちづくり～ストレスを軽減し、リフレッシュできるまちへ～」井崎義治氏 千葉県流山市長

「IT/AI の健康分野への適用例～姫路市の健診データ解析と歌唱による誤嚥予防～」畑豊氏 兵庫県立大学副学長

- ・循環不全→都市交通ネットワークの不整合。
- ・肥満→必要なサイズよりも大きく郊外にふくれあがってしまう肥満型都市。
- ・骨粗しょう症→気づかないうちに空き家や空き地が増え、中がスカスカに。
- ・つくばエクスプレス沿線区画整理事業。
- ・グリーンチェーン制度。
- ・駅前送迎保育ステーション。
- ・要配慮児童保育コンシェルジュ。
- ・歌唱による誤嚥への挑戦。

【2日目】10月18日（金）

■パネルディスカッション「健康づくりとまちづくり～市民の一生に寄り添う都市政策～」コーディネーター：宮本太郎氏 中央大学法学部教授

パネリスト：三木崇弘氏 高岡病院児童精神科医、奥村圭子氏 NPO 法人日本栄養パトネット理事長、今井敦氏 長野県茅野市長、南出賢一氏 大阪府泉大津市長

- ・かかりつけ医による「場」の処方箋。
- ・広く住民の交流や活動のなかで健康増進をすすめる「ポピュレーションアプローチ」
- ・まちの保健室。
- ・こどもは、未来の大人。
- ・「健康とは、病気や虚弱でないというだけでなく、肉体的、精神的、及び社会的に完全に良好な状態である。」（WHO）
- ・「若者に選ばれるまち」を市地域創生総合戦略で位置付け。
- ・AI 乗合オンデマンド交通。
- ・病気になる前の未病期における対策。
- ・フードリボンプロジェクト。
- ・発酵食品やオーガニック食材、旬やミネラル豊富な食材等を使った特別な給食「ときめき給食」を毎月2回提供。
- ・妊婦とおなかの赤ちゃんの健康を「食」でサポートするため、金芽米を毎月最大10kg 無償で提供する「マタニティ応援プロジェクト」

【1日目】10月17日（木）

■基調講演「生命を捉えなおす—動的平衡の視点から—」

生物学者による講演で、「動的平衡」をキーワードに話をされた。諸行無常の世の中で、変わり続けないと現状を保てない。つまり、「現状維持は劣化である。」ということであると感じた。

■主報告「市民のLIFE（命・くらし・一生）を守り支える姫路の健康づくりとまちづくり

姫路市長の話であったが、会場がある姫路駅周辺を見ると、まさにウォークアブルなまちづくりが実践されていると感じた。姫路城を中心とした城下町が背景にあるとはいえ、駅からの動線づくり、歩車分離、自転車走路の設置などの工夫も見てとれた。

■一般報告「生き物から学ぶ健康なまちづくり」「都市そのものを健康にするまちづくり～ストレスを軽減し、リフレッシュできるまちへ～」「IT/AIの健康分野への適用例～姫路市の健診データ解析と歌唱による誤嚥予防～」

都市機能の不全を人間の体の病気に例えた話はわかりやすかった。

つくばエクスプレス沿線区画整理事業に際してのまちづくりとグリーンチェーン制度は、緑に対しての市長の想いを感じるものであった。

【2日目】10月18日（金）

■パネルディスカッション「健康づくりとまちづくり～市民の一生に寄り添う都市政策～」

4名のパネリストによるディスカッションでは、それぞれの見地からの意見が出された。特に2人の市長の熱量は高く、それぞれが強い想いを持って政策展開されている様子が窺えた。

調査・研修の成果・考察

(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

健康に関する分野が主の会議であったが、まちづくりや生物学、医療や都市政策など、多角的な見地からの考察が述べられ、健康ひとつとっても様々な見方があり、非常に参考になった。

特に印象に残っているのは、会場都市の姫路市長の主報告で、医師である市長の健康分野に対する取組は、説得力のあるものであった。ウォークブルなまちづくりの実践では、「一万歩楽しく歩けるまちづくり」として整備をされていた。マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化においても、自身の専門知識を背景にされたものであった。

姫路市や講演をした市町と本市では、環境や条件が異なるため、一概に参考にできない事例もあったが、本市のこれからのまちづくりの参考になる事例も多くあり、今後の議会活動のなかで活用していきたい。

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
6 年 10 月 17 日	尾張瀬戸	名鉄	片道	大曽根	16	km	460	円	円
	大曽根	JR	片道	名古屋	9.8	km	4,840	円	円
	名古屋	新幹線	片道	姫路	278.3	km		円	3,930 円
						km		円	円
						km		円	円
	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
	東横イン姫路駅新幹線北口				079-226-1045		9,400 円		
備考欄									

18,630 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
6 年 10 月 18 日	姫路	新幹線	片道	名古屋	278.3	km		円	4,660 円
	名古屋	JR	片道	大曽根	9.8	km	4,840	円	円
	大曽根	名鉄	片道	尾張瀬戸	16	km	460	円	円
						km		円	円
						km		円	円
	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

小計 9,960 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
年 月 日						km		円	円
						km		円	円
							km		円
							km		円
							km		円
	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

パック等による割引など 小計 0 円

400 円

宿泊費 合計

9,400 円

交通費 合計

19,190 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

28,190 円